

外務省「危険情報」の表現を変更 JATAガイドラインも改訂

外務省は8月5日、9月1日から「渡航情報」の名称を「海外安全情報」へ改称すると同時に、「危険情報」については、現行の4段階のカテゴリーは維持するものの、危険の度合いの記述を分かりやすい表現に改めることを明らかにしました。

現行のカテゴリー分けである「十分注意してください」「渡航の是非を検討してください」「渡航の延期をお勧めします」「退避を勧告します。渡航は延期してください」という4段階について、左記に変更し、次のような説明に改めています。

「レベル1…十分注意してください」…その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため、特別な注意が必要です。

「レベル2…不要不急の渡航は止めてください」…その国・地位への不要不急の渡航は止めてください。渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。

「レベル3…渡航は止めてください(渡航中止勧告)」…その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。

「レベル4…退避してください」…渡航は止めてください(退避勧告)」…その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。この状況では、当然

のことながら、どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。

JATAは、全国旅行業協会とも連携して旅行会社による安心安全の取り組みへの配慮を外務省に要望し、外務省のホームページでの危険情報の説明文では、発出対象が一般的な個人旅行者を対象とするもので、安全対策を講じている旅行会社による企画旅行とは異なることや、旅行会社が自己の責任において企画旅行の実施を判断していること、旅行会社を選ぶ際に安全対策を判断基準に入れること、などにも言及、併せてJATAが観光庁の指導の下、旅行安全マネジメントを推進しており、海外旅行の安心安全な実施のためのガイドラインを策定していることも記載されています。

JATAでは今回の変更も踏まえて、海外企画旅行の実施ガイドライン(企画旅行の実施における外務省海外安全情報への対応と考え方)を見直して、安全対策の具体例示などを追記しており、8月6日付の会員宛てメール「JATA速報」で案内しているほか、「海外安全情報」についての考え方をホームページ(<http://www.jata-net.or.jp/membership/safety/>)で詳細に紹介しています。

北海道支部

- 8月25日 第2回役員会(幹事会)を開催。
- 8月26日 海外旅行セミナー(地域セミナー/勉強会)を苫小牧市で開催。
- 8月28日 第2回国内旅行委員会を開催。
- 9月1日 第2回訪日旅行委員会を開催。
- 9月8日 海外旅行セミナー(地域セミナー/勉強会)を北見市で開催。
- 9月9日 海外旅行セミナー(地域セミナー/勉強会)を旭川市で開催。

東北支部

- 8月20日 第4回幹事会を開催。福島県観光交流局への表敬訪問と福島県地区委員会との意見交換会を実施。
- 8月25日 国内旅行委員会を開催。東北6県・宮城県バス協会との意見交換会を実施。
- 8月26日 第2回インバウンド委員会を開催。

関東支部

- 8月25日 関東運輸局との意見交換会を開催。
- 9月8日 北陸信越運輸局との意見交換会を開催。

中部支部

- 8月3日 第3回三浦ゼミクレーム対応

講座を開催。

- 8月7日 第2回海外旅行委員会を開催。
- 8月10日 第2回国内・地域振興委員会を開催。
- 8月18日 第2回研修委員会を開催。
- 8月20日 第3回支部幹事会を開催。
- 9月3日 第4回三浦ゼミクレーム対応講座を開催。

関西支部

- 8月6日 和歌山地区委員会を開催。
- 8月25日 京都地区委員会研修会を開催。
- 8月27日 関西からの海外教育旅行と語学研修セミナー&ワークショップを開催。

中四国支部

- 9月3日 現場のための旅行契約の基礎知識講座を開催。

- 8月3日 イベント広報委員会を開催。

九州支部

- 8月26日 海外旅行委員会を開催。
- 9月1日 実務委員会を開催。
- 9月4日 国内旅行委員会を開催。

沖縄支部

- 8月11日 幹事会を開催。
- 9月3日 教育旅行委員会を開催。